

「20周年」積み重ねた友情の礎たち

愛知県大府市市民協働部協働促進課

本号では、前号に引き続き第7回（2012年度）自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の受賞団体のうち、愛知県大府市及び山口県周防大島町の取り組み事例を紹介します。

交流のはじまり

ポート・フィリップ市（オーストラリア）と大府市との交流は、1985年11月ポート・フィリップ市のエルウッド・カレッジと愛知県立大府東高校が姉妹校提携を結んだことが契機となって始まりました。教員、生徒の相互派遣などを通じて両校の交流が深まり、また双方の市長が親書を交わすことで市同士の交流の機運も高まっていったのです。その後2回の事前調査を経て1993年11月、姉妹都市提携の調印に至りました。以降、行政、教育、環境保護などさまざまな分野で交流を続け、両市の姉妹都市関係は今年で20年目を迎えます。

20年間、交流のあゆみ

ポート・フィリップ市と大府市との交流は多くの分野に広がっています。行政分野では1998年より毎年、市職員の交換派遣事業を実施しています。両市が毎年交互に3か月間相手の市へ職員を派遣し、行政機能を勉強すると共に独自のプロジェクトを企画します。例えば1999年にはポート・フィリップ市から来た職員が、両市の図書交換プロジェクトの提案を行い、大府市中央図書館に外国語図書コーナーを創設しました。図書の交換は2013年現在も続いています。一方2012年には大府市から派遣された職員が、日本の災害対策や省エネ、節電への取り組みを紹介しました。職員交換派遣事業は、両市が互いの政策や制度、文化などについて学ぶ貴重な機会となっています。

2013年9月からポート・フィリップ市より職員が派遣されています。派遣職員は両市の環境への取り組みを取材し、それを紹介する動画ウェブサイトを作成しています。動画ウェブサイトは2013年冬ごろまでに、大府市のホームページを経由してご覧いただける予定です。ぜひアクセスしてみてください。（<http://thegreenstories.wordpress.com/>）

教育の分野では、交流のきっかけとなったエルウッド・カレッジと大府東高校に続き、1996年にはセント・キルダ小学校と大府市立石ヶ瀬小学校が、1997年にはコーフィールド小学校と大府市立大府小学校が姉妹校提携を結び、交流を続けています。また姉妹都市提携調印の翌年より毎年継続的にポート・フィリップ市への中学生派遣事業を実施しています。派遣された大府市内の中学生はポート・フィリップ市内にホームステイし、姉妹校訪問やペンギン保護活動、観光地訪問などに参加します。小学校の姉妹校交流でポート・フィリップ市に関心を持った児童が、中学生になって派遣事業に参加し国際交流や多文化共生への理解をさらに深めるという流れが生まれ、国際的で広い視野を持った人材の育成に役立っています。さらに大府市では1992年より国際交流員を、ポート・フィリップ市で募集・面接して



エルウッド・カレッジとの交流に向かう中学生海外派遣団

もらい大府市で雇用する形式を採っています。現在の国際交流員は5人目で、オーストラリアの文化を伝えるイベントを多数開催しています。交流員は保育園児、小中学生、一般市民との交流機会が多く、幅広い年代の市民がポート・フィリップ市について理解を深める一助となっています。

また、環境保護分野についてもポート・フィリップ市の影響を受けた活動が発展しています。1989年にオーストラリアで始まった地域清掃活動「クリーン・アップ・ザ・ワールド」が姉妹都市提携に合わせてポート・フィリップ市より紹介され、大府市でも1993年より毎年9月下旬に「クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン大府」を開催しています。このイベントは、市内のコミュニティが大府市国際交流協会、大府市、環境保護



クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン大府の様子

団体、企業ボランティアなどと協働し、大府市内の川や池、その周辺で毎回1トン弱のゴミを回収する清掃活動です。さらに自然保護の一環として、ポート・フィリップ市の海岸に生息するフェアリー・ペンギン保護のために大府市国際交流協会



ポート・フィリップ市に建てられたペンギン募金お礼プレート

と大府市がペンギン募金を設立し、ポート・フィリップ市の環境保護団体アースケアと協力して成果を上げています。募金開始当初は約100羽

だったペンギンが、2009年の調査では790羽に増加しました。

東日本大震災、ポート・フィリップ市からの友情

2011年3月に東日本大震災が発生し、被災地は甚大な被害を受けました。発生翌月の2011年4月、

ポート・フィリップ市が震災復興支援イベントを開催しました。日本風に装飾した部屋で和菓子を提供して募った義援金約41万円は大府市を通じて、大府市の友好都市である岩手県遠野市へ送られました。ポート・フィリップ市と大府市の20年にわたる友情が震災復興支援イベントという形になって現れたこと、2市との姉妹都市・友好都市提携を通じて大府市が復興支援の橋渡し役を担えたことは大変うれしく、またポート・フィリップ市からの友情に深く感謝する出来事でした。

20周年、友情の礎をさらに強固なものへ

さまざまな分野で友情を育んできた両市の姉妹都市提携は、2013年に20周年を迎えます。この記念として大府市では2013年10月、公式訪問団と市民訪問団の派遣を予定しています。翌2014年4月にはポート・フィリップ市からも訪問団が派遣される予定です。また、2012年に職員交換派遣事業でポート・フィリップに派遣された大府市職員の提案がきっかけとなり、現在ポート・フィリップ市では20年の友好の証しとして市の公園の一角に日本風庭園を造成しています。大府市はこの庭園に石灯籠を贈呈するための募金活動を行っています。日本風庭園と石灯籠は、両市の友好のシンボルとなることでしょう。さらに2014年には大府市民美術展へのポート・フィリップ市芸術作品の展示招致も検討されており、両市の友情は今後も分野を広げますますます深まっていくものと思われます。

ポート・フィリップ市と大府市は前述のような広い分野での交流事業を、長きにわたり継続的に実施し続けてきました。20年間たくさんの人々の手によりひとつひとつ積み重ねてきた事業、活動、イベントの全てが、両市の現在の厚い友情の礎となっています。結果、この20周年という記念すべき年に、両市の交流事業が第7回国際自治体交流表彰（総務大臣賞）受賞の誉れを賜りました。今後も大府市はポート・フィリップ市との交流を通じ、20年間積み重ねてきた友情の礎をより強固なものへと育ててまいります。